

全国大会に出場しました！（フラワーサイエンス科） 【第61回技能五輪全国大会】

11月18日（土）～19日（日）、愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）にて第61回技能五輪全国大会が開催されました。

23歳以下の若手技能士が技能を競う大会で、都道府県代表として42職種1,010名が参加していました。本校からはフラワーサイエンス科3年生1名と2年生2名の3名が「フラワー装飾」職種に出場しました。



- 課題1：骨組み付花束／制限時間70分
- 課題2：ブライダルブーケ／制限時間90分
- 課題3：サプライズ競技①／制限時間80分
競技課題「クリスマスリース」
- 課題4：サプライズ競技②／制限時間120分
競技課題「テーブルデコレーション」
テーマ『二人の記念日』



集中して競技課題作品を制作していきます





競技は2日間にわたり開催され、1日目に事前に発表されている2つの課題の作品制作と1つの当日発表課題の作品制作、2日目は当日発表課題1つの作品制作をしました。前回大会より国際大会を見据えた競技課題となっており、難易度の高い制作技術が要求される大会となりました。

競技開始直前にテーマ・花材・資材・制作条件が発表された課題（サプライズ）に選手は戸惑いもありましたが、授業後の基礎練習や例年より回数を多く行った休日集中練習の成果を發揮し、見応えのある作品を制作していました。

選手は緊張した中で、集中して競技課題に取り組み、疲れた様子でしたが、技術レベルの高い大会で競えたことは自信に繋がったようで、笑顔で全競技課題を終えることができました。また、本校では初めて2年生が技能五輪全国大会に出場しました。3年生よりも1年間分、花に触れる時間が少なく、かなり不安を感じていたようですが、初めて見る花材や資材を使いこなし、制限時間内に作品を完成させ、健闘しました。

入賞は成りませんでしたが、3名の選手とも来年度以降の大会出場を目指し、多くの審査員に指導を仰ぎました。高校生を対象とした大会と違い、細かな厳しい指導もありましたが、当日発表課題の2作品の講評では、それぞれにテーマに即した表現ができていること、発想の面白さ、正確な基礎技術などを高く評価していただき、次の大会出場へ向けて励みになりました。

技能五輪全国大会は来年度も愛知県で開催されます。今年の3名の選手に続く生徒の活躍を期待しています。